

全仏通信

四月号

発行所 全日本仏教会
東京都中央区築地
三ノ一(本願寺内)
電話 〇二九六九
〇三二六九
〇三一三三
振替 三三六〇〇
東京 三三六〇〇
発行人 伊東勝純
編集者 柳 了堅
印刷所 ルンビニ社
一部 二〇〇円

新年度を迎えて

事務総長 黒田白純

陽春四月、新生の息吹きは天地にみち、人それぞれに感慨のあらたまるものがある。

昨年師走の二十五日に、豊原大潤師を新しい理事長に迎え、理事會が新発足を踏み出した。私は年末年始の諸行事やら対外的な接衝のために、文字どおり東奔西走、事業計画案や予算案を作成したりでいそがしかったが、これらの原案は評議員会理事會の決議を経て確定しこの新年度を迎えたものである。この間にも、いろいろな問題の処理に迫られて、各局とも多忙な毎日の連続であった。新年度を迎えてまず考えることは、計画された事業はもとより、突発的な問題についても時を移さず処理できるように機動化する。ことと、これに伴う経費の支弁方法について配慮しておかなければならないということである。

前号に掲げられていた事業計画は不急不要と思はれるものは、ひとつもなく、むしろぜひ加えなければならぬと思う事項でも実施の段階には経費が伴うために削除を余儀なくされることは、ひとり全仏のみならず、各宗各派もどの団体でも同じ悩みがあると思われ、この問題の解決の処理いかんでその任にある人の評価が決まるのである。財団法人全日本仏教会の寄附行為によれば、資産から生ずる果実事業に伴う収入寄附金、負担金などの収入によってこの法人の運営をしなければならぬと定められてはいるが、歳入の九割は宗派などの負担金収入である。各宗派に、この負担金の納入に絶大な配慮を煩はしているところであって、この負担額はすでにビークにきていっていると考えられるのでこれ以上収入増加を求めるとすれば、どうしても寄附金によるか、事業に伴う収入、すなわち収益事業を考慮しなければならないことになる。

資産から生ずる果実といっても基本財産五十万円では一ヶ月の郵便料にも足らぬ収入しか得られない現状で、この対策を早急に計ることも必要である。理事長の命をうけて事務総局がいろいろと計画した事業を遂行するためには、加盟団体がこれまで以上のご協力とご法愛を寄せていただくよう、みずからの姿勢を正して研さんを怠らず、対外的には全仏の背後には常に八万の寺院があるのだ、との信念をもって、真実一路、ことにあたる以外に途はないと思う。

新年度には第十四回大会をはじめ各種委員会などが各局とも新増設され、専門的な事務や事業が実施される。地域仏教徒会議、プロジェクト別の仏教会活動のしようよう、ベトナム救援の実行などがそれぞれであり、組織、国際、文化、の部門でとりあげ得ないものはすべて総務局で処理するわけである。この上にも各位のご好意あるご鞭撻とご協力を切望して止まないものである。

メッセージ

タイのウエサカへ

タイのウエサカ祭は本年六月三日から始まるが、WFB(会長ブリン妃殿下)から高階瑞仙禅師にWFB副会長としてのメッセージを送るよう要請があった。全仏国際局でメッセージを作ったパンコックへ送った。

なおWFB副会長は十二人だが第七回世界仏教徒会議(インド)のとき前全日仏会長高階禅師が副会長のひとりに選ばれている。

第14回 全日本仏教徒会議

愛知大会に参加しよう

さる昭和二十八年高野山において第一回大会が開催されていらい、本年第十四回大会が仏教隆盛の地名古屋市において全国二万有余の参加を目的として開催される運びになった。

いまこそわれわれ仏教徒は法輪のもとに一大結集し、仏教界が当面する諸問題を討議考究し、建設的成果を収めることを熱望してやまない。

記

- ☆期 日 六月三日(金)四日(土)の両日
- ☆会 場 名古屋市愛知県立体育館
- ☆参加費 一〇〇〇円 (全仏あてに現金を添えて申)
- ☆宿泊費 A二〇〇〇円 B一五〇〇円
- ☆観 光 三コース三〇〇円 四〇〇円 七五〇円 (宿泊、観光は名古屋市中心部(元町愛知学院あて申込みのこと)
- ☆申込/切日 五月十日(厳守)

(詳細は全仏組織局にお問合せください)

主催 財団法人 全日本仏教会

東京都中央区築地三の一(築地本願寺内)
電話 542 541 〇三二三
542 二九六九・八六六六

専門委員会

それぞれに 開催おわる

全仏事務総局人事が発令され、さらに各局の専門委員も依頼を終り、これで昭和四十一年度に対する人的配置の決定をみたわけである。

文化局はいち早く文化専門委員会を三月五日午後一時から築地本願寺で開催、続いて同月八日午後

文化専門委員会

昭和四十年各委員は再任の先生方が多く、委員経験の豊富なせいか会議の運営も万端スムーズに進み、昭和四十一年度の文化局予算の少ないことに一応の質疑があり、さらに事業計画については文化委員らしい活潑な意見の発表があった。

- 一 仏教徒憲章の制定
- 一 仏教文化会議の各地での開催に關しテーマ原案の設定

一 仏教徒教職員連盟の結成などが年度内の完成目標である。

教授、文博、西 義雄師を主査として小委員会制をとり、仏教文化会議は例年にならってこれを開催するにしても、新しい地区の開拓と、その「テーマ」制定に充分の研究をすること、仏教徒教職員連盟の結成については、東京都教育会との連絡を密にして充分研究

二時から築地サボイの特別室で第一回の青少年委員会を開催した。各委員の初顔合せという意味もあったせい、出席状況もよろしく、新陣容になった今後の全仏のより以上の前向きな姿勢に対応されたような感が深かった。以下その概要を略記して報告としたい。

し、効果的なものにするようにと

青少年専門委員会

本年度始めて文化局所屬として本委員会を設けたのであるが、第十三回全日本仏教徒長野大会第四部会で全日仏青提案の全仏内に青少年局を設けよの提案の影響もあ

け、また一般社会における青少年問題の対策として設置されたことであり、全仏としてこれにいかに対処するかはその論点が集中され、盛んな発言があった。

一、各宗派内における青少年問題関係機関の横の連絡を密にするよう努力する。

一、近き将来には青少年会議というものを全日本仏教徒会議の方式で持ちたい。
一、B・S・関係の各宗派の

提案された。

全一仏教聖典の編纂については云うは易く、行うは難しでこれが完成までには幾多の困難があることは論を待たずでもないが、これを推進し、具体化しようとするところを多として、協力することに決定した。これらの事業はすべて小委員会制をもって推進することに意見一致し、有意義な第一回文化専門委員会を閉じた。正副委員長はつぎのとおり満場一致で決定した。

- 委員長 伊藤 道機
- 副委員長 真溪 義貫
- 副委員長 摩尼 清之

横の連絡を密にしたい。

一、ボランティア精神を發揮することが非行化防止の要点であらう。

一、児童福祉法による対象者の救済をする。

一、カウセリング利用の必要性

など活潑な意見の交換があり、実行方法としては全日仏加盟団体から青少年関係の資料を集めることに決定し、有意義に第一回青少年委員会を閉じた。

- 委員長 伊藤 脩己
 - 副委員長 岩堀 至道
 - 副委員長 内山 堯修
- 正副委員長は右のように決った。

国際専門委員会

本年度の第一回国際専門委員会は三月十二日午後二時から東京築地本願寺で開催された。会はまだ平林国際局長の挨拶にはじまり、出席者全員の自己紹介のあと議事に入った。第一課題の「正副委員長の選出について」の選出方法を諮ったが、事務局に一任になったので、つぎの候補者を平林局長より発表、全員異議なく決定した。

- 委員長 中山 理々師
- 副委員長 藤井 真水師
- 副委員長 今井 大彰師
- 副委員長 岡野貴美子氏

ついで中山新委員長が座長席につき就任挨拶を述べ、鎌田主事から本年度の国際局の事業計画と予算について説明し平林国際局長は、先般の南ベトナム統一仏教々会との共同声明についてその経緯を説明し、仏教徒の立場からは南北いずれにも偏せずに対処する方針であると述べ、若干の質問があったのち全員了承した。また、現

在具體化しつつある「ベトナム救援」の売薬につき、平林局長から説明があり、壬生、桜井師からそれぞれ質疑があったのち了承された。

韓国 日本仏教使節団

昨年企画しましたが、日韓批准前であったため、本年に延期しました。戦後初の日本仏教各宗僧俗代表団の派遣により、両国の仏教による理解が深められ、親善が増進されんことを切望するものがあります。各位はふるって御参加下さるようお願い致します。

- 期間 五月八日から十四日までの七日間
- 費用 十三万円(含団費)
- 経路 大阪―京城―慶州―釜山―京城―金浦―大阪
- 切路 三月末迄に国際局へ申込むこと。

資料お送りします。

組織専門委員会

新しい人事でスタートした組織専門委員会の初顔合せは三月十四日、築地本願寺特別室で開催された。柳組織部長の司会で全員自己紹介のあと黒田白純事務総長は「全仏の仕事の多くは組織関係である、ということは地域仏教会育成、強化に会務発展の鍵がかかっているからである。現在では未加盟の県仏教会もごく僅かであるから、近い将来には各県すべて加盟になるよう努力したい」とあいさつし、ついで五つの諮問事項の協議に移り

- (一) 委員会の構成について
- (二) 昭和四十一年度組織局事業計画について
- (三) 昭和四十一年度組織局予算について
- (四) 第十四回全日本仏教徒会議愛知大会について
- (四) その他

私の提案

仏教徒教職員連盟の結成

文化局長 日野 照護

陽春四月、どここの学校でも新学期が始まるわけであるが、今年度から新たに教鞭を執る寺院関係の教職員も相当数あるのではなからうか。多くの寺院には、住職が健在であるならば、その子弟はほとんど外部で職に就いている実情であり、住職自身の兼職者の数も年々増加しつつあるようである。地方人口の大都市集中

などし付議(一)については

- 委員長 鈴木敏範(神奈川県)
- 副委員長 神野真一(東京都)
- 小野島元雄(本願寺派)
- 古屋道雄(日仏保連)

古屋道雄(日仏保連)

弘報小委員会

委員長 白川良純(全青協)

の諸氏を選任、柳部長から事業計画と予算を詳細に報告した。

組織局の事業計画のうちの衆議院選挙対策などの政治活動については神野副委員長から、「全仏では本年度から政治専門委員会を新たに設けたが、いつ設置を認められたのか、またどの局で担当するのか、予算措置がされているのか、一との質問があり、この質問に答え事務総長は「政治専門委員会は前回の常務理事会で承認している。この委員会の予算は総務局の負担で事務は総務局担当である

が組織局にも農地報償、墓地問題など関連があるので両局で協力して努力する」と述べ、このほか政治活動についてはいろいろ各委員より質問があったが、鈴木座長から結論として、「組織局の重点はあくまでも組織活動が中心であると思う。創価学会対策、時局対策などの仕事につきからつきに起つてくるし、特に衆議院選挙対策などの政治活動はぜひとも仏教徒の団結が必要である。とにかく名実兼備の全仏になるよう努力しよう」と述べた。

また本年度の愛知大会については大会開催の趣旨が抽象的であるとし各委員から「スローガンやテーマは全仏としてもっと主動的にせよ」とか「青年部会を設置せよ」などの要望があり、初めての専門委員会にしては多くの鋭く突込んだ質問に熱のある専門委員会であった。

出席者 新美孝道 岩本昭典

白川良純 神野真一 船口暉子 古

屋道雄 西本悟作 能登有光 鈴木

敏範 白山亮一 金子隆暹 古川海

祥 小野島元雄 大河内隆弘 朝比

化に伴い、将来この兼職内容の比重が顛倒するおそれもないとは云えないが、それはさておいて、それら住職なり子弟なりの従事する職種の大半は教職員であることは間違いないから。そして全国における寺院関係教職員の数は非常なものであろうし、これに一般仏教徒のそれを加えたなら、驚くべき数字が出てくると思われる。しかしこの数字も現在のところ、単なる推定の域を脱せず、仏教関係教職員の間になんの有機的な連繋もないありさまである。お互い仏飯を食し、香華に薫せられてきた身であるという、手を繋ぐ

べき立派な理由がありながら、別々の立場に立っていることは、なんとなく残念なことである。神社関係にあつてはすでに神職者教職員連合組織が結成されていると聞いている。然るに仏教界では、曹洞、東西本願寺、浄土といった大宗派でも、この完全な組織化を達成していない状態である。青少年、保育、BS等では独自の組織力を有している宗派もあることであるから、前記の農村人口の大都市流入と云う、重大な問題も考え合せ、一刻も早くそれぞれ各宗派関係の教職員連合体を、結成していただきたいものである。

奈秀行 左本政治 北之内真竜

加盟を承認

福島県仏教会

さる一月二十六日開催された常務理事会で、昨年十一月に申請があった福島県仏教会の加盟が同日付で承認された。これにより本会の都道府県仏教会は三十四となった。同会の所在地及び役員はつぎのとおり。

事務所 福島県信夫郡信夫村
円通寺 電話(信夫代大森)二十二番
会長 吉岡棟一 副会長 寛堯海
保森寛道 岡部実城 正本達順
鶴田広隆 庶務会計 岸広善

黒田師からタイ通信

タイ国入りして二月二十六日得度式をすませた黒田武志、石附周行両師は、その後ワット・バクナム寺で小乗仏教の厳しい修行をつづけているが、黒田師からつぎのような通信がとどいた。

いわゆるベビーブームの波が過ぎ去ったのち、当然予想される生徒児童の激減に伴う、教職員の数とりあげられるのは、兼職者であると云うことは、誰にでもすぐ考えられることであるが、ここにお互いの問題として、真剣に考究し対処し、救済の道を講じてくれる組織を背後に持つことが、どんなに望ましいことか云うまでもなからう。

お世話になるばかりで恐縮いたしております。十日ほど前にちょっと風邪をひきましたが、今はすっかり回復し元気いっぱいでありますからご放念のほど願います。昨日無事得度式を終りました。戒師はタイ国四度大僧の一人、ワット・ポー住職ソムデ・ブラ・ワナラ大僧正で、WFB会長ブーン妃殿下、サンヤ・タルマサクティ氏(タイ国仏教協会会長)、日本人会長その他多数の人びとにご出席を頂き盛大な式でありました。ワット・バクナムでも住職をはじめ比丘や、ピラ先生、それに高野山真言宗の佐々木弘伝師らにたいへん親切にしてください感懐いたしております。僧堂生活やビザ関係一切もタイ国仏教協会にまかせてありますので何卒御心配なくお願いします。

タイ国は一週間前から夏休みで寺も一段とにぎやかです。寺の裏側が有名な水上マーケットで、早朝より毎日活気に充ちています。生活と信仰の面では、仏教国だけのことがあって洵に敬虔で胸をうたれることがしばしばです。

その育成の再検討、特に宗教的育成が関係筋から注目されてきつつある。このような時にこそ、仏教徒教職員の統一組織が存在していれば、その影響するところはまことに大きいものがあると思われ。

しかしながらこの全国組織の結成は、一朝一夕には達せられない至難の事業かも知れないが、ぜひとも成就しなければならぬことでもある。われわれはたとえその歩みは遅くとも、一歩ずつ着実にこの遠く厳しい道を、目標に向かって前進して行かなければならぬ。

東京都仏教連合会の東京花まつり会では、毎年花まつり行事をさかんに催されているが、こどもつぎのとおり開催される。

四月(日時) (会場)

一日	〇時半	上野松坂屋屋上
二日	正午	新宿 区文化会館
二日	一時	日比谷公会堂
二日	三時	本願寺大谷ホール
二日	午後	亀戸地区 各寺
三日	十時	外神田 神田寺
三日	一時	田無町 総持寺
三日	一時	音羽通り 護国寺
三日	一時	日の出村 公民館
三日	三時	慶応女子高校校庭
四日	十時	上高井戸 浴風園
四日	午後	亀戸地区 各寺
五日	日中	鐘が淵駅前 ほか
五日	一時	谷 中 観音寺
六日	日中	こんにゃく稲荷ほか

「農地報償」要求の手引き

農地被買収者給付金請求書については、既に提出済の法人も少なくないが、請求書の記入と添付書類についての注意事項を当局に聞いてみた。

請求書用紙は区役所、市町村役場で「印鑑等届出書用紙」とともに貰う。

買収筆数が十五筆以上の法人は「補助用紙」(一枚に四十筆記入可能)も忘れずに貰うこと。

東京の花まつり

七日	三時	西武百貨店七階
八日	十時	浅草寺 観音堂
八日	十一時	雑司が谷鬼子母神
八日	正午	丸ビル一階ロビー
八日	一時	小平市 円成院
八日	一時	品川区 公会堂
八日	一時	上荻窪 光明院 ほか
八日	一時	新宿生活館公会堂
八日	一時	飯橋 華嚴寺 ほか
八日	一時	下赤塚 松月院
八日	二時	小金井 金藏院
八日	二時	袋町 真頂院
八日	二時	北砂町 妙久寺
八日	二時	等々力 不動尊
八日	三時	文京 児童会館
八日	日中	南多摩地区 各所
八日	全日	都内 公衆浴場
九日	一時	荒川区 宮グラウンド
九日	一時	八王子市 民会館
九日	二時	麻布山 善福寺
九日	二時	一ツ木 浄土寺
十日	九時	多摩 全生園 ほか
十日	十時	三好町 雲光院 ほか
十日	十時	栃木女子 刑務所
十日	一時	巣鴨とげぬき地蔵
十日	一時	深川東陽小学校 ほか
十日	一時	亀戸三丁目 萩寺
十日	日中	北区 北部 全域
十六日	一時	荒川区 会館
廿三日	二時	府中 市民会館
三十日	十時	目黒区 公会堂
四月中毎日		区内 二十五保育園
五月日時		(会場)
六日・七日		区内 保育施設
八日	一時	横川橋 徳寿院
八日	二時	九品仏 浄真寺

一筆別記入について

一、買収地目は令書の現況地目を記入する。但し令書を失くし、土地登記簿抄本を添付する法人は、登記簿の地目表示による。

二、買収面積については、買収後一部買収取消になった際は、令書や登記簿の地積によらず、取消選付坪数を差引いて記入し、備考欄に「〇畝〇分買収取消に

付減」と記入すること。

三、買収地が未だに農家に売渡されず、将来選付請求をする予定のところでも、今回の請求をして差支えない。

四、買収年月日は、買収令書の中央に記入された「買収の時期」を記入する。令書右肩にある発行年月日と混同しないこと。

五、一筆毎の記入は
① 買収令書を買収年月日の順に整理し
② 先ず「田」だけを令書記載の順に記入し
③ 次いで「畑」を記入する。
④ 買収された「宅地」は報償

の対象にならない。
添付書類の準備

一、買収令書は買収年月日の順に綴じる。
令書を失くした法人は、登記所で報償用の土地登記簿抄本の交付を受ける。
二、法人登記簿の抄本を令書の次に綴じる。
所謂「資格証明」である。

※ 住居表示の実施された地区では、法人所在地の新旧表示を明記した、市区町村長の証明書を貰って、これに添付する。
三、閉鎖登記簿抄本(旧法人令による登記簿の抄本)を綴じる。
この抄本の請求部分は司法書士の中にも不案内の者がいるから、請求部分を下記する。

閉鎖抄本請求事項

予備欄登記事項

昭和二十×年×月×日△△区△△町××番地◎◎寺の設立登記をなしたので宗教法人法附則第拾九項に因り本号登記用紙を閉鎖する。

※ 農地被買収者は、農地解放当時の「旧法人令による〇〇寺」であって、現在給付金を請求する「◎◎寺」は、〇〇寺の後を継いだ「一般承継人」である点に留意のこと。

四、施行令第二条の書類とは、従業員が五人以下である事の証明書である。

東京都では昭和四十年十月三十日40経農報発第七四号で、「当該法人の包括法人の証明を必要とする」と通達し、更に、

「この証明の様式は特に規定しないが、従業員については、単に従業員が〇名という記載でなく、昭和四十年四月一日現在の従業員の名を具体的に記載したものとすると付記してあるから注意すること。
※ 単立法人の証明の取扱いについては追って通達されよう。(東京仏連会報より)

ベトナム救援運動

ベトナム戦争の現実、ますます深刻な様相を呈し、戦禍の難民は飢餓、悪疫に呻吟している現状にかんがみ、全日本仏教会では、「日本仏教徒のベトナム救援運動」本部を設け、全国の仏教徒に強力に呼びかけることに決定し、その具体案について国際局を中心に準備がすすめられており、一大運動を展開することになっている。

発行人などの変更

昨年十二月四日、全仏の事務総長、局長の交送および各部長の異動があり、こんど本誌の発行事務も組織局が担当することになりました。従って発行人、編集人の変更認可がされましたため発行がおくれました。なにとぞ御了承下さい。

四月からいよいよ新年度に入り、事務局もそれぞれ所管の事業の遂行に全員張切っています。本誌の編集については、新年度から新計画にもとづいてそれぞれ専門家を頼しだんだんと向上していきます。

あ と が き

御叱正、御指導を乞う(Y)

発起人会ひらく

全仏婦連の

「社団法人化」

全日本仏教婦人連盟は、このたび社団法人として再発足することになり、定款原案の作成そのほか設立準備を進めていたが、いよいよちかく文部省に設立許可の申請をすることになり、さる三月十六日午後二時から、赤坂プリンスホテルで発起人会をひらいた。

まず議長に馬場幸子さんを選び、山本すぎ発起人代表から設立経過の報告、つづいて事業計画、予算の説明が船口暉子事務局長から行われ、全員異議なく承認した。つぎに役員を選任は議長一任となり発起人会は午後四時に終わった。ひきつづき来賓の代表からそれぞれ祝辞がのべられ、力強い発足が約束された。

当日は全仏から黒田事務総長、伊藤組織局長、柳組織部長が出席した。

新役員の名前は主務省の設立許可があったのち発表されることになっている。

「全国寺院名鑑」経過報告とお願ひ

さる昭和三十八年から始めました全国寺院名鑑は、各宗々務所、各本山、各都道府県仏教会のご協力を得て、満三年の現在つぎの表のような結果となっております。

今後とも各寺院におかれまして刊行会からの書類はなるべく早く処理していただくようご協力下さい。なお予約金などは一切いただいておりませんのでご承知ください。(昭和四十一年三月十七日現在)

宗派名	依頼寺院数	返送寺院数
真言宗智山派	一、四〇〇	三二五
浄土宗	一、四〇〇	四三三
浄土真宗本願寺派	一、八七三	七〇〇
天台山真言宗	一、八七三	三三六
高野山真言宗	一、八七三	一七九
真宗大谷派	二、三〇〇	四一六
浄土真宗本願寺派	二、三〇〇	四九〇
曹洞宗	二、三〇〇	四四九
臨済宗妙心寺派	一、四〇〇	四四九
日蓮宗	一、四〇〇	三〇四
聖徳宗	九	二
華嚴宗	三三	二
真言宗大覚寺派	三三	三
新義真言宗	三六	二七
真言宗	三〇	二

全仏主催の

使節団巡拝団

全仏では本年度事業方針の通り種々事業をすすめているが、国際局では各国へ仏教使節団をおくり、仏教による国際親善増進と

世界平和実現に寄与することになったが、すでに企画されているものに次の事業がある。加盟宗派、仏教団体は勿論のこと僧俗一体と

真言宗 御室派	三	二〇
和泉浦寺派	三	二〇
天台真盛宗	三	二〇
天台寺門宗	三	二〇
融通念仏宗	三	二〇
浄土宗西山禅林寺派	三	二〇
西山浄土宗	三	二〇
真宗高田派	三	二〇
真宗 仏光寺派	三	二〇
真宗 木辺派	三	二〇
真宗 出雲路派	三	二〇
真宗 三門徒派	三	二〇
真宗 興正派	三	二〇
臨済宗南禅寺派	三	二〇
臨済宗 円覚寺派	三	二〇
天竜寺派	三	二〇
建仁寺派	三	二〇
相国寺派	三	二〇
建長寺派	三	二〇
日蓮宗不受不施派	三	二〇
法華宗本門流	三	二〇
陣門流	三	二〇
大本門法華宗	三	二〇
本門仏立宗	三	二〇
時宗	三	二〇
黄檗宗	三	二〇

この他の宗派については現在事務処理を進めております。

仏基欧州各地訪問

日本仏教代表団

期日 九月二十七日から十月十四日まで
費用 三十七万円程度
訪問先 アムステルダム、ロンドン、ブラッセル、パリ、ジュネーブ、ミラノ、ローマなど

各地でキリスト教指導者と会見し、平和問題につき懇談すると共に幼稚園、保育園なども視察する

期日 七月末日までに国際局へ申込むこと。どなたでも参加できます

中華人民共和国仏教使節団

期日 八月二十七日から九月十三日まで
費用 三十八万円程度
訪問先 広州、杭州、天台山西安

北京、香港など
期日 六月末日までに国際局へ申込むこと。どなたでも参加できます

印度仏教使節団

期日 十一月中旬から二十二日間
費用 四十七万円
訪問先 バンコック、カルカッタ、ガンガ、サルナート、デリー、アチャッタ、香港など

締切 九月末日迄に国際局へ申込むこと。どなたでも参加できます

主催 全日本仏教会

国際局
東京都中央区築地三ノ一
電話 42-2969番
5866番

第十四回全仏講習会

世はまさに変転きわまりなく、まことに安閑としておれない毎日であります。こうした時世にわれわれは、なにかしらの不安を感じるのではありません。このような人びとに安心感を与え得る力を宗門家は持たねばなりませんし、第一線に立つお互いこそ、このときの指導者にならねばならぬと思ひます。そこで全仏では三月二十八日と二十九日の両日、東京銀座七丁目のヤマハホールで第十四回の全仏講習会をひらきました。

第一日はベトナム問題をとりあげ、その実体の解明と批判、そしてその解決策についての研修。第二日は宗教界としてもっとも留意を要する創価学会の実体と批判について、権威者の講師先生のご卓見を伺い、午後には両日ともに講師先生を助言者として討論会をもちました。演題と講師先生はつぎのとおりでした。

(討論会) 宗教と政治(助言者) 眞理運動主幹友松円諦師 日蓮宗 宗務総長片山日幹師 宗教連盟常務理事大石秀典師
(討論会) ベトナム問題と日本 仏教徒の立場(助言者) 正大理事 長文博松本徳明師 臨済宗師家大森曹元師 全日仏文化局長日野照護師

第14回全日本仏教徒会議

愛 知 大 会

大会スローガン ① 仏教徒は大同団結し、世界の平和に貢献しよう。
 ② 「光はすみずみまで」運動を強力に展開しよう。
 受知県仏教会主唱による、身体障害者に対する救
 援運動に協力する。

大会の開催要項

趣 意

昭和二十八年第一回大会が高野山においてもたれてからここに第十
 四回大会が仏教隆盛の地名古屋市において全国二万余の参加を目的
 として盛大に開催される運びとなった。
 今や宇宙開発の実現は、人類の幸福を招来するや否や、実にその運
 用により痛感される時、東南アジアの一角において世界戦争の危機
 をはらむような深刻な様相を示している。
 このときにあたり日本仏教徒のもつ使命は洵に重且つ大といわな
 ければならない。今こそわれわれ仏教徒は法輪のもとに一大結集し、真
 の平和と人類の福祉に貢献しなければならぬ時である。

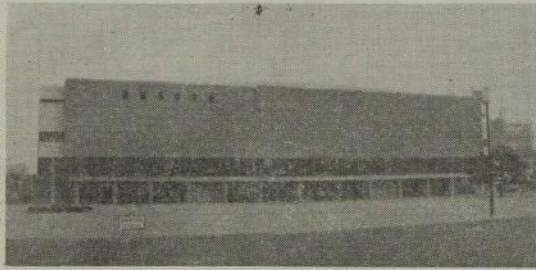
ここに仏教界の当面せる諸問題を討議考究しその成果を期せんとす
 全国加盟宗派、都道府県仏教会、仏教諸団体代表の多数参加を期待
 し、その建設的審議を熱望して止まないものである。

財団法人 全日本仏教会

期 日 昭和四十一年六月三日(金) 四日(土)
 会 場 名古屋市 愛知県立体育館

参加方法

① 参加資格 本会加盟の各宗派、都道府県仏教会、仏教諸団休代
 表者の推せんした者。僧俗男女を問いません。



本主会場となる大道無門の愛知
 県体育館



仏舍利塔に大会の成功を祈念しお参りを終つ
 た局長部長左から日野文化局長河部組織部長
 伊藤組織部長阿部常務理事福田総務局長柳組
 織部長日泰寺

② 申 込 別紙所定の参加申込書に参加費を添えて本会あて御
 送附下さい。
 ③ 参加費 金壹千円(既納の参加費は理由の如何を問わずお返
 しいたしません)。
 ④ 受付期間 五月十日まで
 相当数の参加が予想されますので、切日を厳守して
 下さい(収容人員の関係上お断りする場合があります)

大会日程

⑤ 参加人員 約二〇、〇〇〇名
 第一日 受付八、〇〇 九、三〇〜一二、〇〇
 午前(大会式典、ウエサカ音楽法要、開会式、総会、アトラク
 ション)
 午後(各部会)一、三〇〜五、〇〇 引きつづき懇親会
 第二日 (総会、閉会式) 午後一時……観光出発の予定

議案および分科会

主題をしぼり、実行可能な議案であることとし、提案は一団体一議
 案とする。議案の採否は議事運営委員会に一任のこと。議案の提出
 期限は五月十日とする(厳守)

- 第一部会 仏教の団体の組織強化、寺院の権益等の問題(日泰寺)
- 第二部会 仏教文化活動、仏教の国際交流の問題(日泰寺)
- 第三部会 仏教青年、運動の問題(愛知学院)
- 第四部会 仏教婦人、檀信徒活動の問題(体育館)

宿泊と観光
 ○宿泊 A二、〇〇〇円(一泊二食税サービス込)
 B一、五〇〇円() 普通旅館

- 観光 六月四日午後一時出発
- A코스(二時間半코스) 三〇〇円
- 名古屋駅前―テレビ塔(展望)―名古屋城―覚王山―名古屋
- 港―熱田神宮―名古屋駅前
- B코스(四時間半코스) 四〇〇円
- 名古屋駅前―テレビ塔(展望)―名古屋城(入苑)―覚王山
- ―平和公園―熱田神宮―名古屋港―名古屋駅前
- C코스(四時間코스) 七五〇円
- 笹島高速センター―小牧空港―明治村入場―犬山城―成田山
- 名古屋別院―笹島高速センター
- 宿泊観光希望の方は直接愛知大会事務局へお申込み下さい。

連絡先 連絡、照会等は左記へ願います。
 昭和四十一年四月一日
 主催 全日本仏教会

愛知県仏教会

東京都中央区築地三ノ一(本願寺内)
 電話(五四一)二九六九・八六六六
 (五四一)〇三一三
 振替 東京 三七、六〇〇番
 大会準備事務局
 名古屋千種区楠本町 愛知学院内
 電話 〇五二(七五一)二五六一番
 内線 二一六番